花卉園芸新聞

発行所
株式会社花卉園芸新聞社
カキエンゲイシンブンシャ
発行人　浅田秀逸
本　社　〒460-0002
名古屋市中区丸の内2-18-13
TEL　052－201－5771
FAX　052－201－6239
東京支局:港区新橋2-16-1ニュー新橋ビル601-A TEL03-3595-1505　FAX1520
©無断転載花卉園芸新聞社 2010
月2回 毎月1日・15日発行
年間購読料9600円(税・送込)
2年間購読18000円(税・送込)
郵便振替か現金書留で当社へ
郵便振替00810-5-23015
ニュースをお待ちしています
TEL052-201-5771編集部まで
kakiengei@minos.ocn.ne.jp
URL:http://www.kakiengei.jp/

高品質時代の施肥管理

マグアンプK　22kg
大粒・中粒
マグアンプII　20kg
Lサイズ・Mサイズ・Sサイズ
マグアンプIII BB　10kg
Sサイズ
HYPONeX
株式会社 ハイポネックス ジャパン
http://www.hyponex.co.jp

「オフィスに緑を」義務付けへ動く

効用アピール都に要望

インドア・グリーン協会総会

インドア・グリーン協会の通常総会・横浜大会

全国約400社のレンタル・グリーン業者で組織する(社)日本インドア・グリーン協会（指田栄二理事長）は、7月26日にパンパシフィック横浜ベイホテル東急で「第37回通常総会・横浜大会」を開催した。室内の観葉植物による、空気の浄化、ストレス低減、作業能率の向上などの効用による消費振興を目指す「アクションプログラム」を実施している同協会。昨年の東京都議会の一般質問で、東京のオフィスの室内緑化を義務付けようという質問を行った都議会議員の山下ようこ議員を来賓・講師に迎え、具体性のある振興計画も動き出した。

総会は同実行委員会の加藤輝夫委員の開会宣言、青木恒実行委員長のあいさつで開幕。

指田理事長は「不況により地方の貸し植木業界は大変厳しく、緑は良いと言われながらも、予算が削減され厳しいのが今の状況。こんな状況が続くとわれわれの業界にも良くないため、一昨年には活性化検討委員会も設置し、人と植物の共生社会の実現、協会の理念・ビジョン、社会貢献の目的を果たすべく、アクションプログラムとして展開しています。地方の皆様も一丸となって、このプログラムをもっと強化していただきたい」とあいさつ。

この日は来賓として、神奈川県の松沢成文知事、農林水産省生産局生産流通振興課花き産業振興室の佐分利応貴室長、内藤恒平横浜市環境創造局みどりアップ推進担当理事、遠藤眞神奈川県職業能力開発協会事務局長、山下ようこ東京都議会議員が出席。来賓を代表して松沢知事、佐分利室長が祝辞を述べた。

佐分利室長は「大企業で最も問題になっていることの一つがうつ病。厚生労働省の統計では、15人に1人がうつ病というデータも出ている。うつには、緑の効用も大きい。緑を削ることは、結局長い目で見ればオフィスの生産性が下がって、職場のモラールも下がること。皆さん一人ひとりが、緑をオフィスに広めることは日本の人々を幸せにすることになると信念を持って、より多くの緑をオフィスに広げていただきたい」と激励した。

福島偉人新理事長

松沢成文神奈川県知事

佐分利応貴花き産業振興室長

総会は、381会員中、本人出席85人、委任状出席124人で成立。議長に岡山県の村松隆男氏を選任して議案審議に移った。

審議された議案は①議事録書名人の選出②平成21年度事業報告、収支決算報告及び監査報告③正会員費の改定④22年度事業計画及び収支予算⑤理事・監事改選。

③の会費については、会費値上げを要望する執行部に対して、一部の会員から反対意見が出され意見の応酬があった結果、現行のままとなり、これに伴い協会の予算についても、無駄なコストを極力カットして財務体質の健全化を推進していくことになった。グリーンマスター認定試験など、これまで行ってきた各種事業は、引き続き行っていくこととなった。

⑤では指田理事長が2年間の任期を終えて退任、福島偉人氏が新理事長に就任した。

総会後の記念講演では、立体花壇の伊藤商事の伊藤孝巳氏が「私流ディスプレイガーデン」、山下ようこ東京都議会議員が「オフィス緑化条例化をめざして～オフィス室内緑化の必要性を訴える～」と題して講演。伊藤氏はFRP製の偽石を使って軽量でありながら質感たっぷりのロックガーデンがベランダで楽しめる、新しいベランターガーデンを提案。

東京都での室内緑化を義務付ける「オフィスグリーン条例」制定を目指す山下都議会議員の講演では、同協会が八丈島の鉢物生産者団体とともに、来年度の都の予算要望のヒアリングにエントリーして室内緑化の効用をPRするなど、実現に向けた第一歩となるような行動についても語られた。実現すれば大きなビジネスチャンスとなるだけに参加者の関心も高かく、議員の話に熱心に耳を傾けていた。

新役員は次の各氏▽理事長＝福島偉人（㈱有髮園、広島）▽副理事長＝青木恒、下野喜一、今城康夫▽総務部長＝斉木実▽教育部長＝島根光義▽情報宣伝部長＝大林修一▽厚生部長＝國分恭平▽事業部長＝溝向紀勝▽理事＝今野秀樹、番場克己、鎮守正憲、三浦俊雄、桃井信、高橋正典、中川洋、川崎弘、野上和義、佐藤喜良、小林善男、杉本聡、稲生淳一、松井幸夫、村松隆男、大井誠之、久芳国昭、田中健彦、赤木行秀、水野義行、涌井史郎、河野明彦、須磨佳津江▽専務理事＝掛樋忠義

貸植木業と八丈の生産者

緑化推進まず都庁から

東京都議会へ要望書

東京グリーンサービス事業協同組合（山本昇理事長）とJA東京島しょ八丈島支店鉢物部会（菊池寛部会長）は、都議会民主党の予算要望ヒアリングに参加し、室内緑化促進へ要望書を提出した。

インドア・グリーン協会東京支部である東京グリーンサービスは、9月2日にヒアリング参加。室内緑化の効用を紹介した上で、緑化スペースを確保する仕組み作りと補助、都庁はじめ都関連施設での室内緑化の推進、入札制度見直し、冊子等での普及啓発を要望した。

八丈支店鉢物部会は3日に参加、島の鉢物生産の苦しい現状を説明。八丈の植物の利用促進へ、まず都の建物に島の植物を飾り、良さを都民にアピールしてほしいと要望。豊かな自然と地熱等クリーンエネルギー利用した生産であることも紹介した。

2日には両団体の参加者が、尽力した山下ようこ都議と交流し、エールを交換した。

山下ようこ都議

オフィスグリーン条例

予算化へ緑の効用訴える

山下ようこ都議会議員

昨年12月9日に都議会の本会議一般質問で「オフィスグリーン条例」、東京のオフィスに室内緑化を義務付ける条例の第一歩となる質問をしました。私はこの日を皆様と共に、室内緑化に光を当てた記念日となるよう前進していきたい。

長引く景気低迷と、物があふれて成熟した時代の中で、いい物を売ろう・レンタルしようとしても、持って行き場がない状況が長く続いています。新たな需要を作り出すことが必要だと思います。東京都は屋上緑化を義務付ける条例を2001年4月に施行、かなり大きな評価を得ています。私は次に光を与えるべきは室内緑化で、東京のオフィスに緑化を義務付ける仕組みを作れば、環境、健康、産業の発展、雇用の促進につながると思っています。東京のオフィスに室内緑化が義務付けられれば、（新しい市場は）1000億円はいくと思います。各地に波及すれば、その何倍にも効果が膨らむのは目に見えます。

私は、室内緑化義務付けを訴えて、去年の都議会選で議席をいただきました。12月の議会での一般質問で、石原慎太郎東京都知事、環境局長などからも前向きな答弁を得ることができました。

東京都には700万人以上の人が働き、オフィス人口も300万人以上。コピー機などからさまざまな化学物質も出ています。植物は有害物質を吸収する力があり、うつへの効用もあります。東京を制することが、各地を皆様が制することになるのではないでしょうか。

私は議員として法律、条例を目指して準備を進めたいと考えますが、世の中の仕組みを変えるには時間がかかります。「室内緑化はこんなに素晴らしいんだ」という世の中の空気を醸成させていくにも、仕掛けを作った上で時間が掛かります。

条例化を進めるのと平行して、協会さんとして（都議会民主党の）来年度予算要望のためのヒアリングに、エントリーしていただくことが決まりました。室内緑化がいかに素晴らしいか、プレゼンテーションしていただくわけです。

いきなりの義務化は難しくても東京都の管轄する建物に、少しでも多く緑化植物を入れるような予算を取る。人の目に触れて「室内緑化っていいんだ」と都民が思えば、予算は増えます。八丈島にも行って鉢物部会の方とも懇談し、このヒアリングにエントリーしてくれることになりました。生産者からも、流通からも声が届いて、都に予算をとるよう駆け引きしていきます。

皆様からは国会議員も都議会議員、区市町村も含めた超党派の議員連盟を作ってほしいという要望もいただき、こちらも全力で進めています。オフィスへの室内緑化、ぜひ皆様と共にダイナミックなうねりを作り出し、共に21世紀をリードしていきたい。（山下議員の講演から、文責記者）

[1]面　室内緑化義務づけ図る
[2]面　10月の市況予想4市場
[8]面　高校生FDコンテスト

誕生花　－花言葉・誰の誕生日－

9月15日(水)先負「ひじきの日」
サネカズラ「好機をつかむ」竹下景子
9月16日(木)仏滅「国連・国際平和デー」
ハゲイトウ「情愛」東国原英夫　内野聖陽
9月17日(金)大安「モノレール開業記念日」
シュウカイドウ「自然を愛す」正岡子規
9月18日(土)赤口「かいわれ大根の日」
リンドウ白「貞節」横山大観　中井貴一
9月19日(日)先勝「苗字の日」(1870)
サルビア「燃ゆる思い」島田歌穂
9月20日(月)友引「敬老の日」「彼岸入り」
リンドウ紫「満ちた自信」小田和正　一青窈
9月21日(火)先負「宮沢賢治忌」(1933)
カンナ「熱い思い」桂ざこば　松田優作
9月22日(水)仏滅「十五夜」
アカネ「私を思って」吉田茂　石井竜也
9月23日(木)大安「秋分の日」「不動産の日」
マンジュシャゲ「陽気な気分」葛飾北斎
9月24日(金)赤口「清掃の日」(1971)
ダリア黄「栄華」筒井康隆　羽田美智子
9月25日(土)先勝「藤ノ木古墳記念日」
ウラギク「追憶」浅田真央　魯迅
9月26日(日)友引「ワープロ記念日」(1978)
イチイ「高尚」天童よしみ　佐藤藍子
9月27日(月)先負「女性ドライバーの日」
トレニア「可憐」岸谷五郎　羽生善治
9月28日(火)仏滅「パソコン記念日」(1979)
フジバカマ「あの日を思い出す」吹石一恵
9月29日(水)大安「クリーニングの日」
ススキ「悔いなき青春」徳川慶喜　林隆三
9月30日(木)赤口「ジェームズ・ディーン忌」
シュウメイギク「多感なとき」五木寛之